

1 この岩は千騎ヶ岩と呼ばれます。どんな伝説から生まれた名称でしょうか。



初代歌川広重 六十余州名所図絵 《下総銚子之濱外浦》(県立中央博物館蔵)

歌川広重は、江戸時代後期の有名な浮世絵師で、「東海道五十三次」などの風景画で有名です。各地を旅行し様々な風景を絵にしました。

銚子は、江戸時代から有名な観光地で、利根川を運行した舟に乗って江戸から多くの観光客が訪れました。源義経の伝説などのある変わった形の岩が多く、「銚子磯めぐり」として親しまれました。



銚子市犬若の海

2 この川が利根川から江戸川と呼ばれるようになったのはいつごろからでしょうか。



初代歌川広重 名所江戸百景 《瀧之台とね川風景》(木更津市郷土博物館金のすず蔵)

利根川は、かつてはほぼ現在の江戸川と同じ場所を流れていました。江戸時代の早いころ、江戸を洪水から守り、下総や常陸方面への水運を開くため、数十年をかけて利根川の流れを変えて銚子に流す大工事が行われました。



市川市国府台付近の江戸川

3 人々はこの海岸で何をとっているのでしょうか。いつごろまで見られたでしょうか。



葛飾北斎 千絵の海《下総登戸》(県立中央博物館蔵)

歌川広重と並び江戸時代の風景画で有名な葛飾北斎も、房総を訪れていくつもの風景画を残しています。東京湾の海浜部は遠浅の海と干潟が広がっていましたが、第二次世界大戦後埋め立てが始まり、風景は大きく変わりました。



千葉市中央区登戸4丁目付近

4 明治時代以降、ちばを描いた絵画にはほかにどのような作品があるでしょうか。



浅井忠 《漁婦》(県立美術館蔵)

佐倉市出身の洋画家浅井忠のほか、青木繁や黒田清輝、中村彝、安井曾太郎など、明治以降多くの洋画家たちがちばを訪れて優れた作品を描いています。



南房総市白浜町根本海岸